

報告とお礼

平成31年2月8日から2月14日までの7日間、「平成30年度滋賀県遺族会フィリピン方面戦跡慰霊巡拝」が滋賀県遺族会主催で行われました。

来賓として滋賀県議会議員野田藤雄様、大津市長越直美様、守山市議会議長藤木猛様が同行下さり総勢31名の旅でした。

A班はルソン島北部戦跡、B班はレイテ島、サマル島戦跡に分かれ、それぞれ慰霊を行い、2月13日にはルソン島のカリラヤ日本庭園日本人戦没者慰霊碑の前で合同慰霊祭を行いました。各班共各地で僧侶様の読経と焼香、戦没したであろう地で各自呼びかけを行いました。父の顔も写真であるいは遠い記憶の中でしか覚えておらず、母の苦労を見て育った私たちの呼びかけは、涙あり、言葉うわずり、私たち遺族の歩んできた道は厳しく苦しい日々であったことを物語っておりました。この呼びかけはきっとご英霊に届いたものと思っています。

さて、毎回行っております現地の小学校表敬訪問について報告とお礼を申し上げます。

前回までは各自がお土産として文房具を中心にプレゼントをしておりました。ところが今回は現地の校長先生から「あつかましいお願いですがもしお許しいただけるならご家庭に残っている不用な楽器をお土産にいただけたら嬉しいです」との要望連絡がありました。

早速、各支部に呼びかけていただいたところ別表のように多くの楽器を寄せていただきました。想定外の集まりでした。中には遺族会員でない方からも自宅に届けて下さいました。関心の深さ、皆さまのやさしい心に感激しました。ありがとうございました。

早速、訪問先は下記の2つの小学校でしたので案分し、お土産として渡すことができました。

A班……フィロメヤ・パラシ・カッティング・エレメンタリー・スクール（ルソン島ベンケット）

B班……マグホームス・エレメンタリー・スクール（レイテ島、ブラウエン）

各小学校とも歌を歌って交流したり、持っていった楽器を少しずつ鳴らして披露しました。残念なことはこの楽器を使って演奏できなかったことです。

現地の子供たち、先生が本当に喜んで下さり私も感激しました。言葉は通じませんが子供たちの目の輝き、喜びの心は十分に伝わってきました。楽器を寄せてくださった皆さまに報告とお礼を申し上げます。

取り急ぎ書面をもって報告とお礼を申し上げます。

『ありがとうございました』

2月20日

慰霊巡拝団団長

山川芳志郎

A 班(ルソン島ベンケット)

フィロメヤ・パラシ・カッティング・エレメンタリー・スクール



B 班(レイテイ島ブラウエン)

マグホームス・エレメンタリー・スクール



平成30年度 滋賀県遺族会フィリピン方面戦跡慰霊巡拝小学校訪問 お土産一覧

	ピアノカ	リコーダー	キーボード 電子ピアノ	タンバリン	鈴	カスタ ネット	ハーモ ニカ	太鼓	鉄琴	トライ アングル	マラカス	紙風船	組立紙箱	Tシャツ	歯ブラシ	タオル
A班 [ルソン島]	17	21	1	2	8	10	1				1	4		10	30	20
B班 [レイテイ島]	17	38	1	1	7	8	1	1	1	1			30			10
合 計	34	59	2	3	15	18	2	1	1	1	1	4	30	10	30	30